

吾妻山砂防通信

第9号



季節外れの吾妻小富士の雪うさぎ

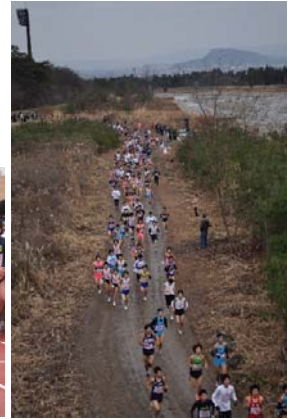
水質日本一の清流 荒川沿いを駆け抜ける 第12回あづま荒川クロスカントリー大会

12月13日(日)、第12回あづま荒川クロスカントリー大会が開催され県内外から約1,270名が参加しました。県営あづま陸上競技場を発着点とし、荒川の河川敷や林間の歩道を駆け抜けました。クロスカントリーのコースは、最長で登録有形文化財に登録された石積み「地藏原堰堤」やさらに上流にある「荒川遊砂地・大暗渠砂防堰堤」を渡る男子13km、最短は小学校男女の2.3kmコースです。

まずは池口正晃福島河川国道事務所長がスターターを務め、小学校5・6年男女がスタート、その後、中学男女、高校男子、女子、一般男子など、順次各部門がタイムを競いました。



各部門ごとに競技場をスタート 荒川の河川敷を駆け抜ける



スターターを務める池口事務所長



無事完走した池口事務所長(左)と郷家出張所長

あづま荒川クロスカントリー大会に参加して…

今回は3.2kmコースに参加しましたが、多少風は冷たいもののまずまずのコンディションの中、多くの声援を受けながら自然豊かなコースを走り抜け、無事完走することができました。

荒川の美しい景観を楽しみながらの余裕はありませんでしたが、荒川の仮設横断を渡るときは荒川の流りが眼前に迫り川音も聞こえ清流“荒川”を肌で感じることができました。

ぜひ来年も参加したいと思います。:荒川ランナーS

松川砂防学習室に遊びに行こう!

松川庁舎では2Fの砂防学習室を地域の皆様に開放しています。
お気軽にどうぞ!

開館時間

月~金曜日

9:30~11:30

13:30~16:30

場所



どんなことができるの?

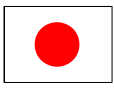
- ・大きなスクリーンで砂防関係のビデオ鑑賞
 - ・ミニ図書館スペース、ホットポンドで流木アート
 - ・…などなど、いろいろな学習や遊びの場として活用できます。
- 去年1年間で1,656人のお友達が遊びに来てくれました。

学習室での約束

- ・飲食は禁止です。
- ・1F事務室のお姉さんに声を掛けてから2Fに行つてね。
- ・利用するときは必ず名簿に名前を書きましょう。

その他いろいろ

- 子供だけではなく、大人の方も利用できます。
- 団体学習の場としての利用も可能ですので、グループで貸し切り希望の場合は、事前に電話かもしくは来訪で予約をお願いします。
- (申請書を書いて頂くようになりますが、使用料は無料です。)



日・台砂防共同研究会が砂防施設を見学



昨年12月17日に台湾から日・台砂防共同研究会の会員15名が現地視察を行いました。

台湾では昨年8月7日から11日にかけて来襲した台湾8号(モーラコット台風)の際に台湾中・南部を中心に大規模崩壊、土石流、地すべり、洪水氾濫等による大災害が発生しました。

今回視察に先だって日・台砂防共同研究会発足20年の記念行事への出席と静岡県での現地視察を行っています。

当出張所管内では、登録文化財でもある地蔵原堰堤と現在工事中の松川床固、平成19年に完成した荒川遊砂地大暗渠砂防堰堤、そして観光地である土湯温泉町の東鴉川第1堰堤という過去から未来へ続く砂防施設を視察しました。

参加者は時折舞い散る雪の中で熱心に写真撮影や質問をしていました。

(日本語を話せる方も多かったけど、通訳さん、ありがとう！)



荒川地域の歴史

いまでも用水を運ぶ『太郎右衛門堰』

昔から川の水は沿川の生活や暮らしを支えてきましたが、約300年前に佐倉地区の水田開発に尽力し、鍛冶屋川の水を引くために掘ったといわれる用水(太郎右衛門堰)を完成させた義民太郎右衛門の功績を紹介します。

義民太郎右衛門は、天和2年(1682年)佐原村井の内で名主の家督に生まれました。生まれつき大層聡明で学問を好み正義感の強い熱情の人であったと伝えられています。成人して人望が益々厚く種々村のために尽力しました。特に祖父3代に渉る世に言う太郎右衛門堰・山間3kmに及ぶ水路を完成し広い水田を開拓し農家の繁栄に貢献しました。

たまたまその頃(享保の中頃、1720年代)の当地方は大凶作が続き餓死する人が続出したので、農民が大挙して再三に渉り大森代官に減税を願い出しましたがついに許されませんでした。困りきった農民は福島藩に越訴したので代官が激怒し、首謀者を追放や打ち首にしました。

万策尽きた35箇村の民衆は密議の上、太郎右衛門に頼って代表に推挙し将軍に直訴することにしました。太郎右衛門は死を決して江戸に上がり、その期を覗っていましたが、ついに捕らえられ佐原に送られ打ち首となりました。

太郎右衛門堰は今も昔のままの姿で用水を運んでいます。



①太郎右衛門堰



②義民太郎右衛門屋敷跡



③義民太郎右衛門一族の墓



④太郎右衛門をまつる義民霊堂



⑤義民終焉の地



お問い合わせはこちら (ご意見・ご感想・砂防に関すること)

国土交通省 福島河川国道事務所

吾妻山山系砂防出張所(本庁舎)

〒960-2156

福島県福島市荒井字地蔵原甲2-14

TEL 024-593-0831

吾妻山山系砂防出張所(松川庁舎)

〒960-2261

福島県福島市町庭坂字遠原三3-4

TEL 024-591-1207

H P <http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/>

